

経営比較分析表（平成29年度決算）

和歌山県 日高川町

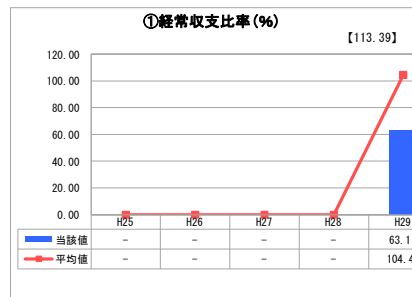
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	36.41	95.02	2,210	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,026	331.59	30.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,451	3.32	2,846.69

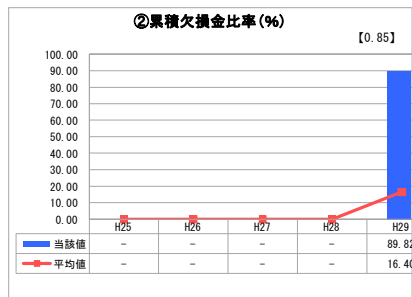
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

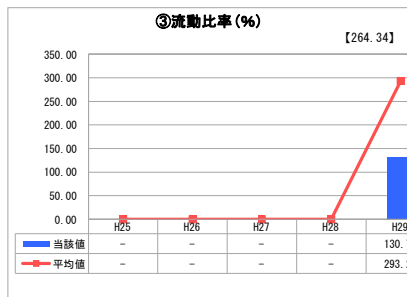
1. 経営の健全性・効率性



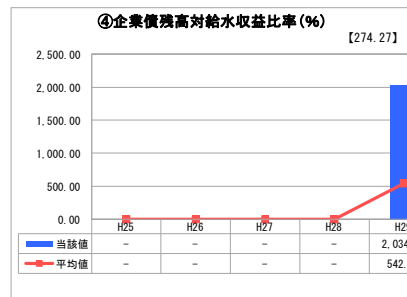
「経常損益」



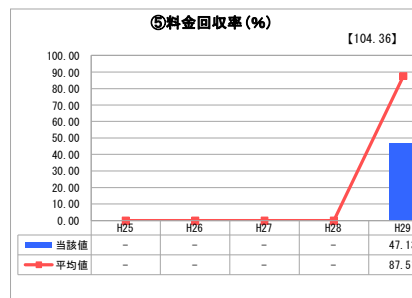
「累積欠損」



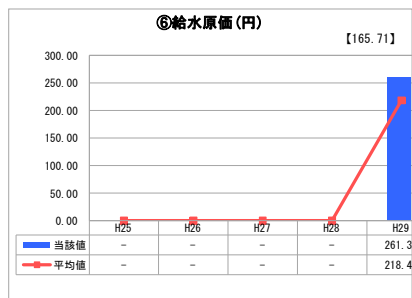
「支払能力」



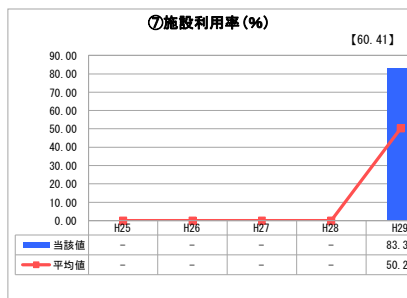
「債務残高」



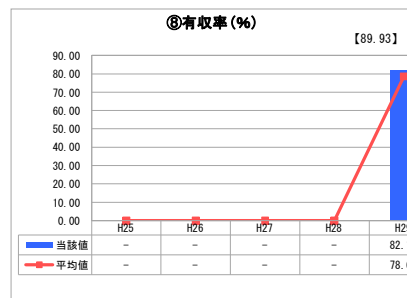
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

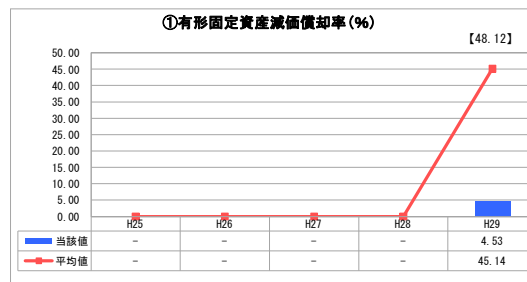


「施設の効率性」

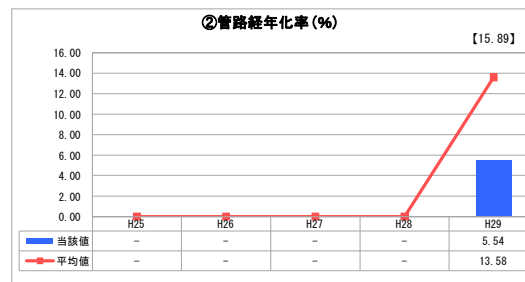


「供給した配水量の効率性」

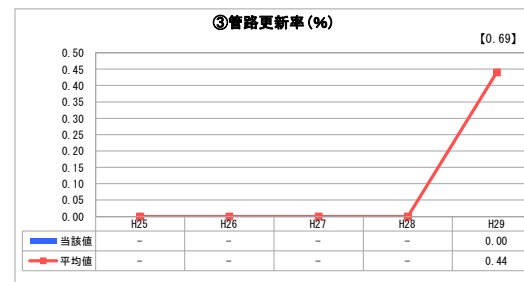
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度から法適用となる。
 経常収支比率、料金回収率については、類似団体、全国平均よりも低くまた100%を下回っているため、更なる経費の削減や投資の効率化に努める必要がある。
 累積欠損金比率については、類似団体と比較しても相当高い数値であるため、0%となるよう経営改善をはかっていく必要があり、また、流動比率については類似団体よりも低い数値であるため、今後は流動負債が増加傾向とならないような経営努力が必要である。
 企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較してもかなり高い数値であり、企業債が給水収益に占める割合が高い。また、給水原価についても類似団体よりやや高い値となっているため、料金水準の適切化を図っていく必要がある。
 施設利用率は類似団体、全国平均より高く、効率的であると言える。また、有収率については、類似団体より高いが全国平均より低いため、今後も漏水調査を行い率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年率共に、類似団体、全国平均より低い値に位置している。今後も、耐用年数に達し更新時期を迎える水道施設については、必要な修繕を行いながら長寿命化を図っていく。

全体総括

人口減少に伴う給水収益の減収により、今後も厳しい経営状況となることが予想される。施設の更新等に備えた財源の確保を図るため、更なる費用の削減や投資の効率化に取り組み、持続可能な経営を行っていかれるよう努めなければならない。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。